

平成28年度学校評価報告書（目標設定）

	学校目標	4年間の目標	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って社会参加し、自立に対する意欲をもって臨む生徒を育成する教育課程を検討し、再構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①今までの実績を整理、評価しながら、よりよい教育課程を検討し実施に向けた方策を検討して試案を作成する。 ②特別支援学校としての政治参加教育のあり方を探求し、構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①校内研究を活用し、教員の思いや考え方を共有しながら、計画的に教育課程を作っていく。 ②模擬投票の試行に向けて、架空選挙・事前事後学習を計画的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①平成29年度実施できる教育課程を構築することができたか ②模擬投票に関わる授業を適切に設定し、生徒の政治参加に対する意識を高められたか。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる力の基盤となるものを育む授業に活かせるアセスメントを検証し、指導に反映させる。 ・社会生活に必要な、他者との協調・思いやり、規範・モラルの意識を育む指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①面談、相談、気づきを指導に活かす仕組みを作る。 ②生徒会・部活動・行事等を通し、他者との協調性を育み、集団参加への意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各種教育計画作成と個人面談、相談等を計画的に実施する。 ②日常的に生徒に関する情報交換を積極的に行い、生徒会・部活動・よこひな祭等の生徒が主体的に活動できる機会を多く設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①個人面談や生徒からの聞き取りの時間を適切に設定し、アセスを授業に反映できたか。 ②生徒の状況を把握して迅速に対応できたか。また、活動をとおして、生徒が他者との協調性を高めることができたか。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が納得できる進路選択できるように、生徒の思い、状態像を反映した指導、支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①具体的な卒業後の生活イメージを持たせ、生徒の社会参加の意欲を高める。 ②安定し、充実した卒業後の生活が送れるよう、卒業生のアフターフォローも充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①職場見学会を実施するとともに、卒業生とその保護者の話を在校生とその保護者が聞く会を設定する。 ②アフターフォローに関する年間計画を作成し、課題解決に向けて旧担任を含め、関係者と協力して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①職場見学会や進路学習、現場実習等により、生徒一人ひとりの課題や目標を明確することができたか。 ②アフターフォローの状況を多くの職員が共有し、関係機関と適切な連携を行い、課題解決できたか。
4	地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を活かしたセンター的機能を検討し、インクルーシブ教育の推進に寄与する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①公開講座、教育相談、地域のイベントにおいて参加者を増やすことにより、学校と地域のつながりを深める。 ②地域と連携した活動の実施、防災体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①公開講座の実施を実施するとともに、関係機関のイベント等の活動動情報を地域に提供する。 ②地域防災拠点運営委員会の議論を踏まえて、校内体制を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域や参加者のニーズに応じた公開講座を実施することができたか。また、関係機関の活動情報を敏速に提供できたか。 ②地域防災拠点運営委員会への参加で、地域へ貢献できたか。
5	学校運営 学校管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・教職員の特別支援教育の専門性をより向上させる。 ・事故を未然に防ぎ、学校への信頼を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①専門性を高めるための校内研究の手法を構築する。 ②各業務のチェックリストを作成するとともに、事故を防ぐための業務体制を随時検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①研究課題について様々な校内研究の手法を試行し、検証する。 ②事故不祥事防止会議を実施するとともに、校内の各会議等での事故事例や事故防止等の情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①職員が意欲を持って研究に取り組み、研究を深めることができたか。 ②ヒヤリハットを適切に扱い、事故・不祥事を未然に防ぐことができたか。